

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	佐賀県療育支援センター 児童発達支援センター くすのみ園		
○保護者評価実施期間	R7年 10月 14日		R7年 11月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	R7年10月14日		R7年10月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 15
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・園児支援は子どもの発達を総合的に支える療育を児童指導員、専門スタッフ(言語聴覚士、心理士、理学療法士、作業療法士)と行うとともに、園と家庭が連携して園児の成長を支える体制を整えています。	・支援の内容は、園や家庭での様子を5領域のチェックリストを基に保護者と一緒に確認をし、専門スタッフも交えて個別支援計画書を作成し実施しています。 ・クラス内で日々の支援内容を共有し、さらに定期的に専門スタッフが療育やミーティングに参加することで、支援の質を高めています。	・所内外の研修参加による職員のスキル向上や他児童発達支援センターと定期的に情報交換を行いながら支援の質を高めています。 ・今後も支援内容や方法については、保護者へわかりやすく説明するよう心がけていきます。
2	・家族支援については、相談しやすい環境づくりに努めるとともに、相談希望があった際には速やかに対応できる体制を整えています。また、専門スタッフによる個別相談を随時受け付け、必要に応じて適切な支援につなげられるよう取り組んでいます。	・日常的に連絡帳や電話連絡、月1回の親子降園の機会を通して、保護者とのコミュニケーションを積極的に図り、安心して相談できる環境づくりに努めています。 ・専門スタッフへの相談が随時行えるよう、二次元コードによる相談申込みや、担当職員を通じた申込み方法を設け、利用しやすい相談体制を整備しています。	・今後も、保護者との対話の機会を設け、個々の家庭状況に応じた支援が行えるよう面談や家庭訪問を実施するなど、情報共有の方法を工夫していきます。 ・家庭での困りごとに対応できるよう、園として支援を強化し、保護者と連携しながら必要なサポートを継続して行っています。
3	・少人数のクラス設定で、保育所、幼稚園、認定こども園の活動に近い活動や設定での支援の中で、個別の発達支援に取り組んでいます。	・毎月のクラス職員会議で、日々の設定活動について保育所等に近い活動を意識しながら検討しています。 ・個別の支援や配慮をクラス職員内で毎日検討し取り組んでいます。	・事業所の支援プログラムに基づいた支援をしています。
4	・移行支援については保護者の意向に沿い、就学に向けての支援や保育所や認定こども園、幼稚園への就園に向けての相談支援を行っています。	・年中児保護者を対象とした就学説明会を行っています。 ・保護者の意向を踏まえ、各市町の教育委員会と連携し、園児がスムーズに就学を迎えられるよう支援しています。 ・保護者の意向に沿い、就園に関する相談や地域の園との交流について支援をしています。	・保護者との情報共有を丁寧に行い、就学・就園に向けた不安や疑問に早期に対応できる体制整備を継続して進めていきます。また、各市町の教育委員会や受入れ園と連携し、個々の子どもの状況に応じた支援がより円滑に進むよう取り組んでいます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・家族やきょうだい児が参加、交流できる行事が少ないです。	・今年は建物の改修工事があり、これまでご家族で参加されていた行事(くすのみフェスタ)が実施できませんでした。 ・行事の実施にあたり、園児一人ひとりの特性や状態に十分配慮する必要があるため、家族やきょうだい児が参加できる行事の数が限られてしまいます。	・今年は、ご家族で参加していただけるバス旅行を実施しました。 ・今後も、行事を実施するにあたり事前準備や個別調整をしっかりと行いながら、家族が参加しやすい機会の検討を継続してまいります。
2	・地域住民(地区の民生委員や児童委員を含めて)との交流は実施していない。	・園児が広範囲から通園しており、地域との結びつきが弱く、民生委員・児童委員を含む地域住民との接点のつくりにくさがありました。 ・個人情報管理の観点から、地域との交流に踏み込みづらいところがあります。 ・今年は建物の改修工事がありボランティア参加の行事(くすのみフェスタ)が実施できませんでした。	・今年は療育支援センターを民生委員・児童委員の方々が見学された際に、くすのみ園の紹介や福祉施設との交流について意見交換を行いました。今後は、地域の関係機関へ連絡を取り合い、地域との連携を図っていく予定です。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	佐賀県療育支援センター 児童発達支援センター くすのみ園
------	------------------------------

公表日 R7 年 12 月 日

利用児童数 17

回収数 11

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	0	0	0	ホールがあるため、天気にかかわらず活動できていると思う/教室以外に運動出来る部屋や広いスペースの部屋があるので気持ちの切り替えが難しい時等に良いと思います。	今後も活動内容に合わせて、クラスの部屋以外（体育会、多目的室、中央ダイニング等）の利用をして活動の充実をはかりたいと思います。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11	0	0	0	丁寧に対応していただいていると感じます/手厚い対応に感謝しています。	児童発達支援を行う児童指導員・保育士及びこれらを含む職員の総数は基準に適合しています。また、別に補助職員（2名）を配置しています。さらに理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、及び心理士も専門スタッフとして療育に参加しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	0	0	0	活動内容を分かりやすく掲示してあると思います	各クラスともに、お子様に合った必要な構造化を行っています。スケジュールやコミュニケーションツールについても、お子様の発達段階に応じて適宜対応をしています。今後も保護者様への説明や情報提供を行います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	0	0	0	清潔で整理整頓されていると感じる/クールダウン出来るスペースなどあり良い。/お集まりの場所や遊びの場所が決まっているのでスムーズに過ごせていると思います。	心地よく過ごしてもらえるように清潔で安全な環境を提供できるように毎日清掃をしています。活動内容に合わせて、クラスの部屋以外を使用しています。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	0	0	0	子供のペースに合わせた関わりをしてもらっていると感じる/その時々で悩みや不安がありますが、いつも一緒に対策を考えてくださっています。	保護者様やお子様のニーズや課題にあった支援計画を作成し、丁寧に説明をしていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	0	0	0		事業所の支援プログラムに基づいた支援をしていきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	0	0	0	子供の成長や発達状況に合わせた介入方法が計画されていると感じます	保護者様から支援のニーズの聞き取りをし、児童指導員、専門スタッフによるアセスメントを実施し課題にあった支援計画の作成を行います。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	0	0	0	分かりやすく記載されていると感じます	ガイドラインに示された内容で、お子様の発達段階やライフステージに応じて適切に支援項目を設定し、支援内容も具体的に記載します。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	0	0	0	いつも評価で先生と確認が出来ています。	クラス職員で支援計画を共有し、支援計画に沿って支援を行っていきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	0	0	0	色々な活動を通して、自宅では体験できないことを園で体験できていると感じます/いろいろな活動があって良い。/保護者の意見をよく聞いてくださっています。	クラス職員複数で活動プログラムを検討しています。お子様に様々な体験を通じて興味関心の幅をひろげることや自信に繋がる内容を日々工夫しています。活動プログラムについては、機会がある時に説明をしていきます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1	0	5		保護者のご希望に応じて、ご自宅周辺に所在する保育所、認定こども園、幼稚園等との交流を支援しております。また、今後も療育の一環として、公園への外出、図書館や児童センターでの活動を計画し、地域のこどもたちと触れ合う機会を継続的に設けていきます。なお、交流に関するご希望がございましたら 随時お申し出ください。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	0	0	0		契約の際にわかりやすい説明をしていきます。	
13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	0	0	0		児童発達支援計画について、個別でわかりやすく説明をしていきます。	
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	0	0	0	研修会があり、有り難いです。	療育支援センター研修事業で保護者向けの研修会を実施していますので、案内をしています。	

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11	0	0	0	お迎えの際に今日の様子など伝えてもらい、有難いです。/登園時や降園時も話しやすいし、相談があればその時に聞いてくださっています。	日々の連絡帳を通してお子様の様子や支援状況をお伝えしています。また、必要な際には電話や送迎時にお子様の状況を保護者様へ伝えることを継続して行います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	0	0	0	いろいろとアドバイスを頂き、有難いです。	家庭訪問や児童発達支援計画の成果や聞き取り面談を通じてお子様の園での様子を伝え、保護者様の困りごとやニーズを直接お聞きする機会を設け、助言等を行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	0	0	0		今後も丁寧で共感的な支援を心掛けていきたいと思っています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	3	0	2	兄弟の交流はない/きょうだい向けのイベント、きょうだい同士の交流はないかなと思います。	保護者様への支援として、これまで行ってきた交流会は継続して開催していく予定です。今年度は、きょうだいの方にも参加していただけるバス旅行を実施し、家族で楽しめる時間づくりにも取り組みました。これからも、家族やきょうだいに参加できるような行事を検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1	0	0	各専門スタッフへの相談手続きについて説明はあったが、利用したことがない	保護者様からの相談や申し入れは迅速に上司へ報告、相談を行い対応をしています。保護者様の思いに寄り添い、的確で具体的な助言ができるようにスキルアップに努めます。専門スタッフへの相談については、随時受付できるようなシステムにしています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	0	0	0		今後もお子様や保護者様にわかりやすいように伝える配慮をしていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	0	0	2		業務に関する自己評価の結果、行事予定、クラスだよりについてはホームページで公表しています。今後も随時公表を行い、保護者様へ周知をします。
非常時等の対応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	1	0	0	たまに他の子の荷物が混ざっていることがある	荷物の取り扱いにおいて他のお子さまの持ち物が混ざってしまうことがあったとのご指摘をいただきました。この事態を踏まえ、今後は荷物の確認方法を見直し、入れ間違いが起らないよう対策を進めてまいります。引き続き、個人情報の取り扱いには十分注意し、安心してご利用いただける環境づくりに努めます。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	0	0	1		必要なマニュアルの作成をしています。消防計画のファイルを作成して、保護者様が閲覧できるように玄関に配置しています。各種マニュアルの年間計画に基づき、訓練を実施しています。今後も保護者様への周知に努め、協力を仰ぎながら、今後も安心・安全に努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	0	0	1		子どもたちのいる時間帯に毎月火災・風水害・地震を想定しての避難訓練を実施しており、毎月クラス便りでお知らせしています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	0	0	0		安全計画のファイルを作成して、保護者様が閲覧できるように玄関に配置しています。安全計画のファイルについては保護者様へご説明をしています。
満足度	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	1	0	0	まだ怪我をしたことがないので分からない	事故が発生した際には、まず怪我などへの対応を行った後、速やかに状況を文書や写真で記録し、保護者様へご説明しております。今後も継続した説明に努めていきます。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11	0	0	0		お子様に安心感を持って過ごしてもらえるように支援に取り組んでいきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11	0	0	0	楽しいようで、毎朝嫌がることなく通園しています。	お子様に楽しく通園していただけるよう、支援に取り組んでいきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	0	0	0	他にはないほど手厚い支援をしていただいています。	お子様や保護者様の思いに寄り添い、適切な支援ができるように取り組んでいきます。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	佐賀県療育支援センター 児童発達支援センターくすのみ園	公表日	令和7年 12月 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	15	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15	0	全職員で清掃等行う為、環境整備、清掃が行き届いている。	夏場は暑いため、外に出るのが難しく、活動スペースが限られる。室内で利用可能なスペースがもう少し増えればと思う
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15	0	カームダウン室を2部屋設置。またクラスの中にも個別のスペースを設定し、ワークや一人遊びの場として使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	15	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	0	各担当や係で話し合う場があり、また必要に応じて係内で話し合いの場が持たれている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	15	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15	0		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	15	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	0	事例検討会議等の場が持たれている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15	0	専門スタッフによるアセスメントも活用している	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15	0		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	15	0		集団活動の機会が減っているので、様々な機会を利用して増やすことが必要だと思う
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15	0	密に連携を図り情報共有が行なわれている	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	15	0	県内の児発センターが会しての研修等の企画を担っている。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	15	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	15	0	自立支援協議会こども部会の再開に向けての会議に参加	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	12	3	地域の公園や神社、児童センターでの活動を計画している/地域の図書館や児童館利用の場を設定している	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15	0		行事等を通して家族の関わりを見る機会が増えればと思う
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	15	0			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	0		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	15	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	13	2	保護者講座を企画し、グループワークを取り入れて保護者同士の交流の機会を設けている。	保護者支援はできているが、兄弟が交流できる場を設けられると良いと思います。/きょうだい同士で交流する機会は設けていない
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	15	0	保護者が見やすいようにホームページを改善した。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15	0	個別に応じて絵カードやPECSを用いている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11	4		地域の民生委員等向けの研修等を開催してはと思う
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	15	0	毎月のおたよりに取り組みについて周知をしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	15	0		